

公開国際シンポジウム 持続可能な環境とコミュニティの創造学

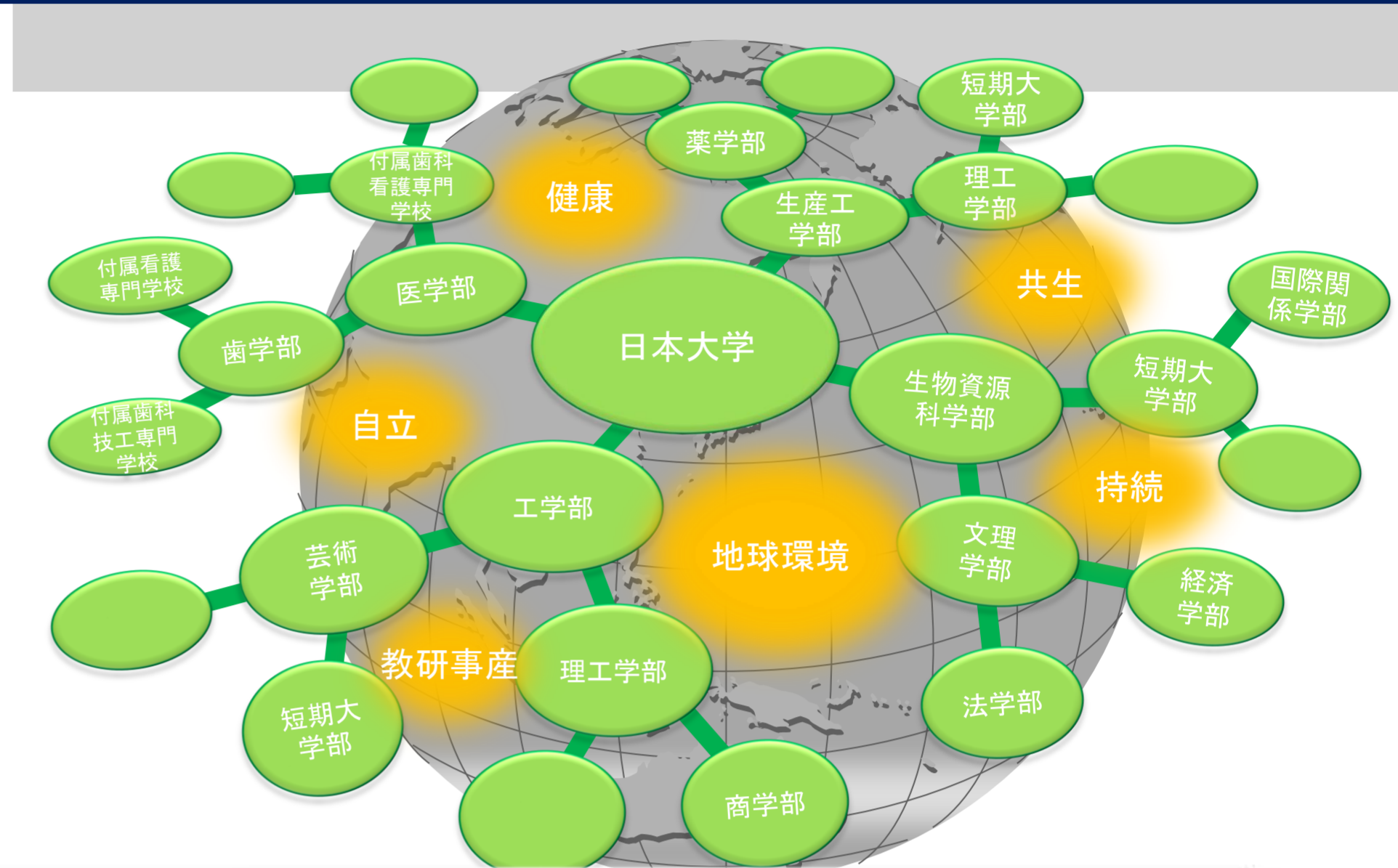
開催日時：平成23年2月4日（金）・2月5日（土）

開催場所：日本大学 生物資源科学部・中講堂

主催：シンポジウム実行委員会（委員長：糸長 浩司・副委員長：加藤 康司）
生物資源科学部 工学部

本シンポジウムは、昨年度に開催された日本大学学部連携「持続可能な自立共生空間の構築と発展的コミュニティの形成」シンポジウムの第二弾として、さらに持続可能な低炭素社会構築のための理念と実践的研究の交流の場となる国際シンポジウムとして開催します。

日本は人口減少社会の中で、どう持続可能な低炭素社会の構築、相互扶助でのコミュニティの再構築のビジョンとシナリオが求められています。世界的視野での研究・活動実績のある日本大学の研究者、国内外の実践者、官庁、企業、NPOと学内の若手研究者、市民との研究・活動交流を図ることで、より問題解決型で実用的な研究と実践の方向を明確にしていきます。



神奈川県藤沢市：小田急江/島線・六会日大前駅下車

2月4日(金)：9時30分～18時00分

【若手研究者+NPO+企業の研究・実践交流による
ポスターセッション・シンポジウム】

●テーマ「環境保全・創造・浄化」手法とそのコミュニティへの適用をどう考えるか

【昼休み】

●見学会 生物資源科学部キャンパスエコビレッジ(CNES)

【講演：第1部】

趣旨説明

環境とコミュニティの総合創造学のすすめ

糸長浩司(生物資源科学部)

- LOHASの家の深化
- 持続可能な環境修復技術の展望
- 無印良品の環境プロダクトへのアプローチ
- コミュニティ空間のデザイン
- コミュニティアーキテクトの役割

- 橋本 純(工学部)
- 長谷川巧(生物資源科学部)
- 土谷貞雄(株式会社良品計画)
- 浅野平八(生産工学部)
- 宇杉和夫(理工学部)

【討論】



2月5日(土)：10時00分～18時00分

【講演：第2部】

- 持続可能な環境農業と地域づくりの展望
- LOHAS工学の理念と展望
- 地球温暖化と低炭素国家への道
- エコビレッジとトランジション

- 河野英一(生物資源科学部)
- 加藤康司(工学部)
- 小林光(環境省事務次官)
- Penelope Reyes(フィリピン)

【昼休み】

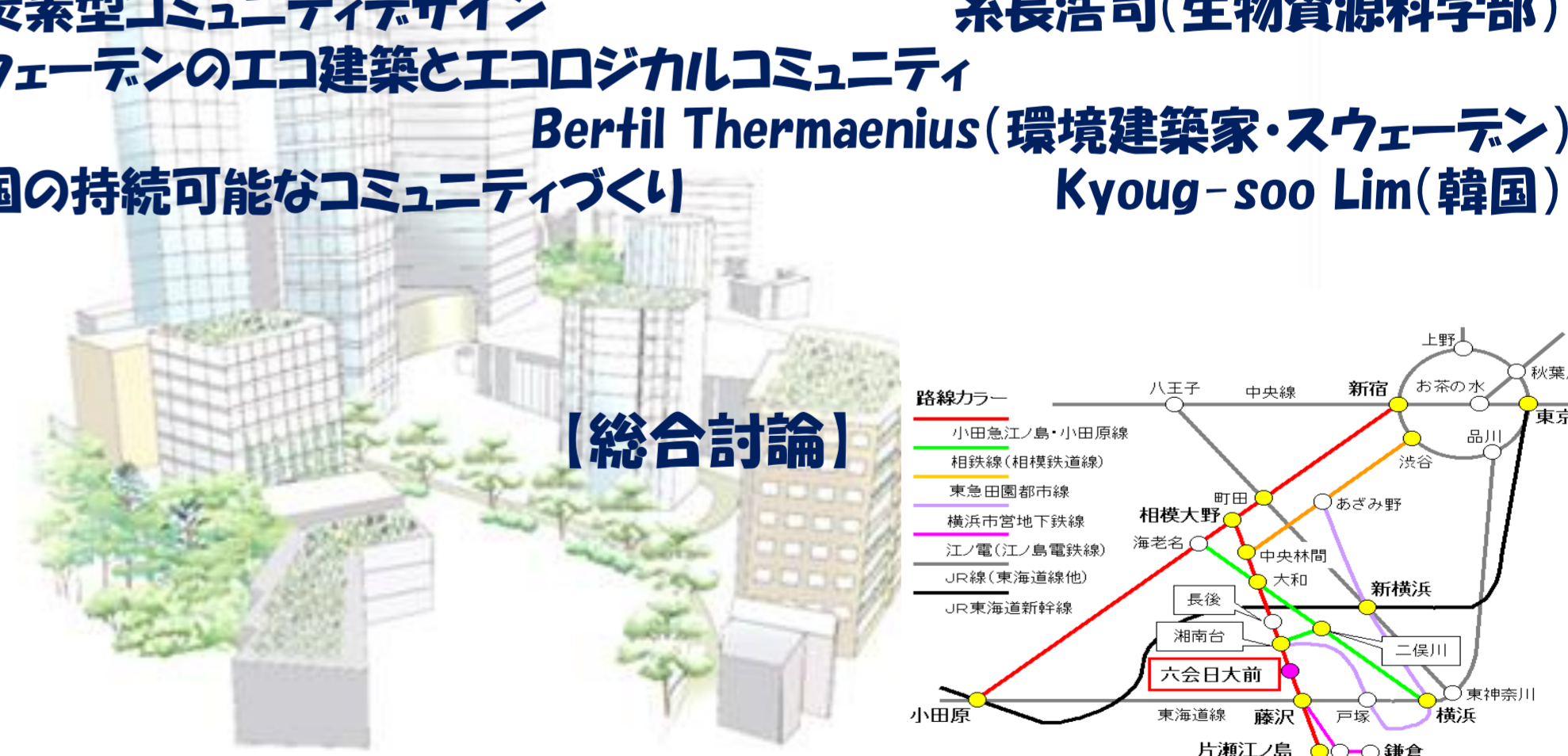
●ポスター展示：前日ポスターセッション参加作品

【講演：第3部】

- 2050年低炭素理想都市デザイン
- 低炭素型コミュニティデザイン
- スウェーデンのエコ建築とエコロジカルコミュニティ
- 韓国の持続可能なコミュニティづくり

- 中村勉(日本建築学会)
- 糸長浩司(生物資源科学部)
- Bertil Thermaenius(環境建築家・スウェーデン)
- Kyong-soo Lim(韓国)

【総合討論】



★参加者 どなたでも参加可能です。参加費は無料です。外国語には日本語逐通訳付きです。
【参加申し込み方法】次の①～③の項目を明記の上、下記問合せ先にF a xまたはEメールでお申込みください。
①件名「シンポジウム参加」、②氏名(所属)、③連絡先(F a xまたはEメール)

★申込期限 平成23年1月25日(火)

★問合せ先 日本大学生物資源科学部 研究事務課 〒252-0880 神奈川県藤沢市亀井野1866
F A X:0466-84-3875 Eメール:kenjimu@brs.nihon-u.ac.jp

後援：日本建築家協会、日本建築学会、農村計画学会、環境情報科学センター、日本機械学会、土木学会東北支部、福島県、郡山市、郡山商工会議所、藤沢市(予定)、スウェーデン大使館(予定)、公益財団法人郡山地域テクノポリス推進機構、NPO法人パーマカルチャー・センター・ジャパン、NPO法人ビーグッドカフェ、NPO法人エコロジー・アーキスケーブ、NPO法人自然環境復元協会、NPO法人懐かしい未来、NPO法人トランジション・ジャパン、エコビレッジ・ジャパン・ネットワーク、(社)農山漁村文化協会